

## V 活 動 ・ 啓 発

### 1 春・秋の大掃除及び「ゼロごみの日」

清潔で住みよいまちづくりのため、市民が自主的に清掃活動に参加することで、環境美化意識の高揚を図ることを目的として、昭和 62 年度より大掃除月間中の日曜日を「まちをきれいにする日」と定め、平成 24 年度からは一斉清掃の日を「ゼロごみの日」と改称しました。

また、毎年、春と秋に町内会や企業などが協力して、市内の道路・公園・空き地などを一斉に清掃しています。

(参加人員数)

	H30	R1	R2	R3	R4
春の大掃除月間	11,026人	16,187人	中止	8,313人	13,467人
秋の大掃除月間	13,990人	14,983人	13,889人	13,183人	13,534人

### 2 苫小牧市ぼい捨てによる空き缶等の散乱の防止に関する条例の一部改正とPR

本条例は、清潔で快適な生活環境の形成を図るため、ぼい捨て禁止及び散乱防止についての市民・事業者の責務を規定し、平成 10 年 10 月 1 日に施行し、平成 28 年 4 月 1 日付で、本条例の一部を改正しました。

なお、この条例改正に伴い、新たなぼい捨て防止看板の設置を行い、ぼい捨ての未然防止に努めています。

#### 主な改正内容

- 市は、事業者や市民の環境美化活動に対して積極的に支援していくこと。
- 空き地等へのぼい捨てを未然に防ぐため、土地所有者等も市の施策に協力しなければならないこと。
- 市は、ぼい捨てを行った者に対し、市が指導、勧告及び命令できること。



### 3 分別意識の徹底

ごみの減量やリサイクルを推進するには、排出者による分別ルールへの遵守が重要です。

このため、市の清掃指導員による現地指導をはじめ、「クリーンとまこまい」や「ごみ収集カレンダー」等の市民向け各種資料やリーフレットを配布するほか、出前講座や各種イベント等で啓発活動を行い、市民に分別意識の浸透を図っています。

令和 4 年度の苫小牧市のリサイクル率は、32.0%で道内主要 10 市の中では 1 位となっています。

また、令和 2 年 10 月からは、スマートフォン向けの「ごみ分別アプリ・053City」を導入し、令和 5 年 3 月末時点で、累計 11,976 件ダウンロードされています。

### 4 「053 (ゼロごみ) 通信」の発行

ごみの分別への意識啓発及びリサイクルの推進を図るため、ごみ分別アプリや 053 ファイブの YouTube や Instagram、資源物の回収拠点の紹介など清掃事業に関するトピックを発信する「053 (ゼロごみ) 通信」を、ごみ収集カレンダーに掲載し、市民に情報発信をしています。

5 不法投棄防止活動の実施

不法投棄等監視パトロールや不法投棄防止看板・監視カメラの設置、地域情報誌への掲載による啓発、警察等関係機関と連携した対応に加え、日本郵便(株)苫小牧郵便局、北海道電力(株)苫小牧支店との協定締結による不法投棄対策の強化や、市民からの不法投棄に関する情報提供を目的として、平成 25 年度に「不法投棄専用ダイヤル 53-0530 (ごみゼロごみゼロ)」を開設し、不法投棄防止対策として実施しています。

令和 4 年度の不法投棄発生状況は 58 件で、不法投棄通報件数は 47 件となっています。

6 不適正排出防止に向けた取組

共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会を通じて共同住宅居住者の排出マナーの向上と良好な居住環境確保を図るための取組を実施しています。

また、不適正排出を防止するため平成 27 年度から、ごみの排出状況が良好な共同住宅のごみステーションを優良ごみステーションとして認定し、啓発活動として取り組んでいます。

令和 4 年度末時点での優良ごみステーションは 26 ヶ所となっています。



7 沼ノ端クリーンセンター見学会の開催

ごみ減量とリサイクルの大切さについて市民理解を深めるため、町内会、各種団体、小・中学校等を対象にごみ処理施設を見学していただき、ごみの受入れから処理までの工程を説明する見学会を開催しています。

令和 4 年度の施設見学件数は 28 件でした。

8 出前講座の実施

町内会や市民団体等へ職員が講師として現地に伺い、ごみの減量と分別、リサイクル、生ごみ堆肥化などをテーマとした出前講座を開催しております。

参加者に実践していただくことで、ごみに関する理解を深め、意識啓発に努めています。

また、次世代市民に対しては、小学校低学年、高学年、中学校と学年に応じた講座を開催し、環境教育を推進しています。

令和 4 年度の出前講座の件数は 20 件でした。

9 4 R 運動の推進

従来から、リデュース (出さない)・リユース (再利用する)・リサイクル (再生する) と 3 R 運動を推進してきましたが、平成 24 年度からリフューズ (もらわない) を加え、4 R 運動を推進しています。

10 生ごみ 3 きり運動の推進

生ごみの減量対策として、平成 26 年度から、「使いきり」「食べきり」「水きり」の 3 つの「きり」を合言葉に、「生ごみ減量 3 きりプチダイエット」を推進しています。

11 食品ロス削減運動の推進

食品ロス削減のため、市内のコミュニティセンター等で消費期限が 2 か月以上残る食品を集め、フードバンクに寄贈するフードドライブ事業を実施しているほか、各種イベントや出前講座において、食品ロス削減の啓発事業を行いました。

また、売れ残りによる食品の廃棄を減らすため、食品ロス対策事業を実施しています。

食品小売店等から食品の売りきりに関する情報提供を受け、ごみ分別アプリの通知機能で定期的に知らせています。

12 053（ゼロごみ）推進事業の実施

「ごみの減量・リサイクルの推進・まちの環境美化」を基本テーマとし、まちぐるみで取り組む053（ゼロごみ）大作戦を平成19年度から開始しています。

なお、平成21年度にステージ2、平成24年度にステージ3、平成27年度にステージ4を実施し、令和2年度はステージ5を実施しました。

※ 参考 ～053（ゼロごみ）の由来～

北海道教育大学の教授が出版した本の中で、「苫小牧の郵便番号は053であり、ゼロごみの町と訳して、美しい太平洋の自然にふさわしいごみのない町になるように」と記されており、郵便番号にちなんだ053を本市の環境標語としています。

13 環境戦隊053ファイブ

環境戦隊053（ゼロごみ）ファイブとは、本市のオリジナルヒーローであり、子ども達への環境教育の一環として、ごみの減量とリサイクルに加え、ぼい捨て禁止など環境美化に対する意識を醸成することを目的に活動しています。

具体的には、保育園や幼稚園などに出向き出前講座を行うほか、市内のイベント会場等において意識啓発に努めています。

